

学年：1年	単元名：8. なんじなんじはん
-------	-----------------

1. 単元目標：(全1時間)

○何時、何時半の時刻の読み方を理解し、時計の長針と短針の関係を基に時刻の読み方や表し方を考える力を養うとともに、それらを日常生活に活用しようとする態度を養う。

考判表・時刻の概念をつくる。

- ・長針と短針の関係を考える。
- ・時計のメモリの規則性を考える。

知・技・時刻を読んだり、時計で表したりすることができる。

- ・時刻の読み方を理解する。

2. 指導内容

・

3. 指導のポイント

○文字盤は、2種の量のメモリがあることに気づかせる必要がある。

- ・数字は、「時(短い針)」のメモリ、小さいメモリは、「分(長い針)」のメモリ。
- ・とけいは、短い針のメモリを読んだから、長い針のメモリを読む。
- ・短い針は、数字の間にあるときは、「前」で読む。
「短い針が、3と4の間にあるときは、3時と読みます。」
- ・長い針のスタートは、「12」です。
「長い針のスタートは、「12」です。ここが「0」です。
ここから、小さいメモリで、1,2,3・・・と読みます。
数字のところが、「5ずつ」になっているので、5,10,15、・・・と読みやすいようになっています。60で1周します。」
「そのうち半分の30のところに長い針があるとき「半」と読みます。3時半とか4時半とか言います。」

○時計のメモリの読み方

- ①短い針が、「時」で、長い針が「分」
- ②文字は、短い針のメモリ、点のメモリは、長い針のメモリ。
- ③点の5つ分が文字のところにきているから、
5・10・・・と読むことができる。
- ④短い針のメモリを読んだから、長い針のメモリを読む。
- ⑤長い針のメモリは、「12」のところがスタート
- ⑥長い針が「点」のメモリで「30」を指しているとき、「半」と読む。

○時刻のつくり方

- ・長い針が1周すると短い針は、1メモリ動く。
- ・1時間が60分であることをおさえてもよい。

4. 指導にあたって

- ①子どもたちにどんな見方や考え方を獲得させたいか。
 - ・10進数とはちがう数の構成を見つける。
 - ・時計のしくみを考え、規則性を見つける。
- ②それを通してどんな子どもに育てたいか。
 - ・日常使っている既習事項を再確認して、理解を深める子ども。
 - ・学習した内容を日常生活に活かすことのできる子ども。
 - ・日常生活で使っている事柄を確認、認識できる子ども。

5. 学習展開

第1時

学習のめあて（作業・知る・考える）
○時計を見て、今、何時か知ろう。（P48/49）
○模擬時計で時刻をつくろう。

教師の発問と活動・子どもの発言と活動	知識・理解・資料・評価・留意点 他
<p>1. 問題把握</p> <p>T:今日は、時計の勉強です。</p> <p> 何時何分かということがわかればいいですよ。</p> <p>T:これは何時ですか？→C8時30分 8時半</p> <p>T:なるほど。では、たずねますね。</p> <p> どうして、8時だとわかるのですか？</p> <p>C 短い針が、8と9の間にあるから。</p> <p>T8と9のあいだにあったら8時というの？</p> <p> 9と10のあいだだったら？→C9時</p> <p>T:なるほど。</p> <p> では、「半」とはどういうことですか？</p> <p>C6のところにあるから</p> <p>Tなぜ半というのですか。→C半分だから</p> <p>T:長い針は、どこからどこまで動くの？</p> <p>T:長い針のスタートは、「12」？</p> <p>T:長い針が、1周したら短い針はどうなるの？</p> <p>T:長い針が1周したら短い針が1めもり進むのですね。</p> <p>T:では、30分と言った人は、どういうことですか。</p> <p>T:30？数えたの？</p> <p>T:なるほど。短い針のめもりは、「数字」ですね。</p> <p> 長い針のめもりは、小さい「点」ですね。</p> <p> 長い針のスタートは「12」ですね。</p> <p> そして時計は、短い針のめもりを読んで、長い針のめもりを読むのですね。</p> <p> そして、半分のときは「半」というのですね。</p>	<p>• 教科書は、何時、何時半までしか取り扱っていないが、5分単位で取り扱うことにする。</p>
<p>2. 自力解決・学びあい</p> <p>T:では、次の時刻を読みましょう。</p> <p>※5分単位で、示す。30分のときだけ両方の言い方をさせる。</p> <p>※読み方を確認しながら進める。</p> <p>T:次は、先生が言う時刻をつくりましょう。</p> <p>※5分単位で、示す。30分のときだけ両方の言い方を示す。</p>	<p>• 時計の読みと表現。</p>
<p>3. まとめ・ふりかえり</p> <p>T:時刻の読み方・つくり方は、わかりましたね。</p> <p> ところで、8時半なら、みんなは何をしていますか。</p> <p>C 学校に来ている。</p> <p>T:では、10時は？</p> <p>※生活における時刻と生活の関係を確認しながら、P48/49をしていく。</p>	<p>• 生活と結び付けていく。</p>